

---

# 平成17年度関西電力グループ経営計画 説明会

平成17年3月30日

関西電力株式会社

本資料に記載されている当社の業績予想および将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき、当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。

そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は、これらの見通しとは異なる結果となる可能性もあることをご承知おき下さい。

# 目次

## 平成17年度関西電力グループ経営計画について

事業分野別の取組み	.....	1	~	8
・電気事業 ・総合エネルギー ・情報通信				
設備投資額	.....	9		
財務体質の強化	.....	10		

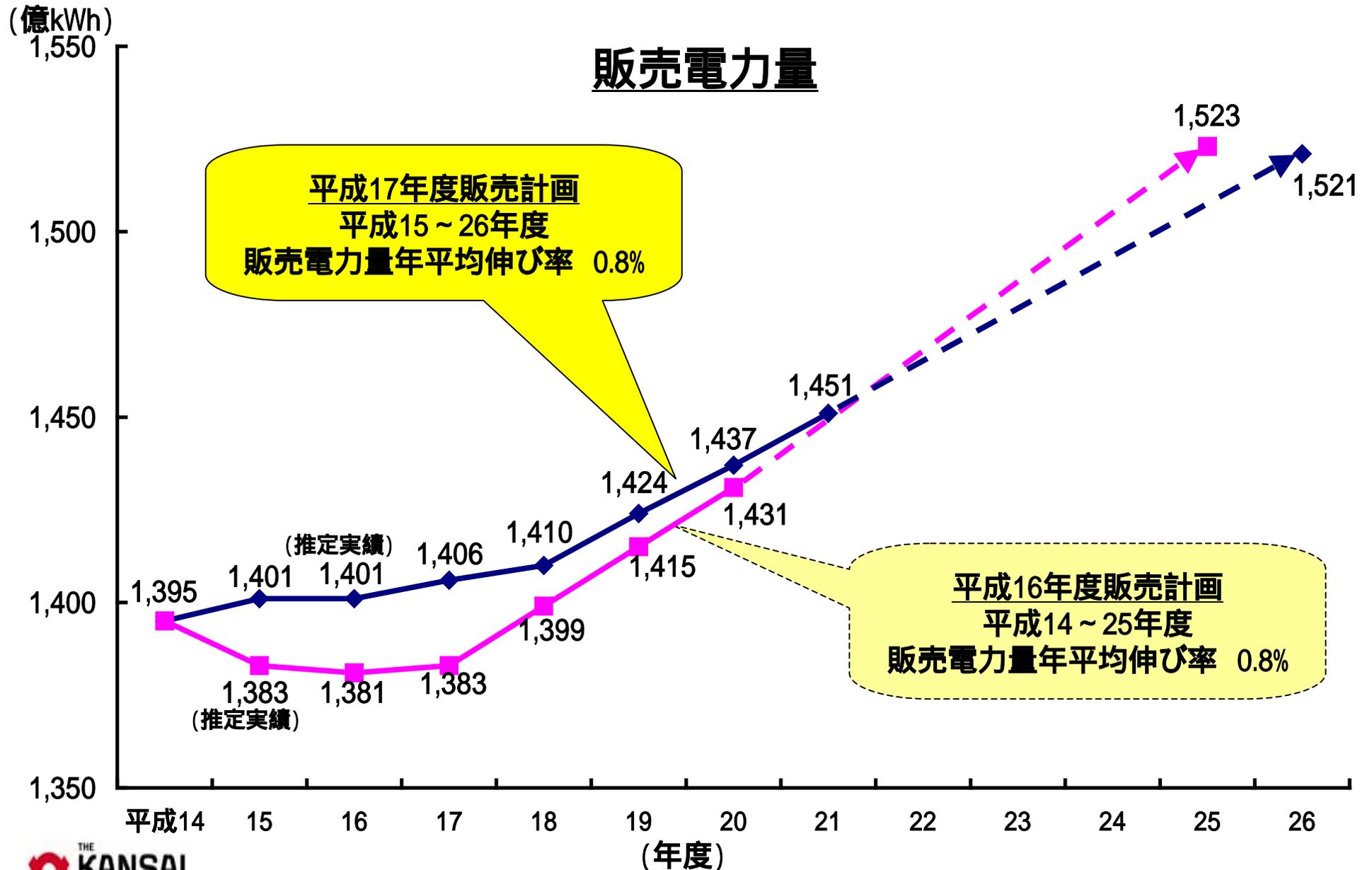
## 御坊第二発電所建設計画の中止について

## 平成17年3月期業績予想の修正について

業績予想修正(H17.3.28)のポイント	.....	12		
業績予想の修正について(平成17年3月期 通期)	.....	13		
連結業績予想の差額説明(平成17年3月期 通期)	.....	14		

## 美浜発電所3号機事故再発防止に係る 行動計画について

# 電力販売計画

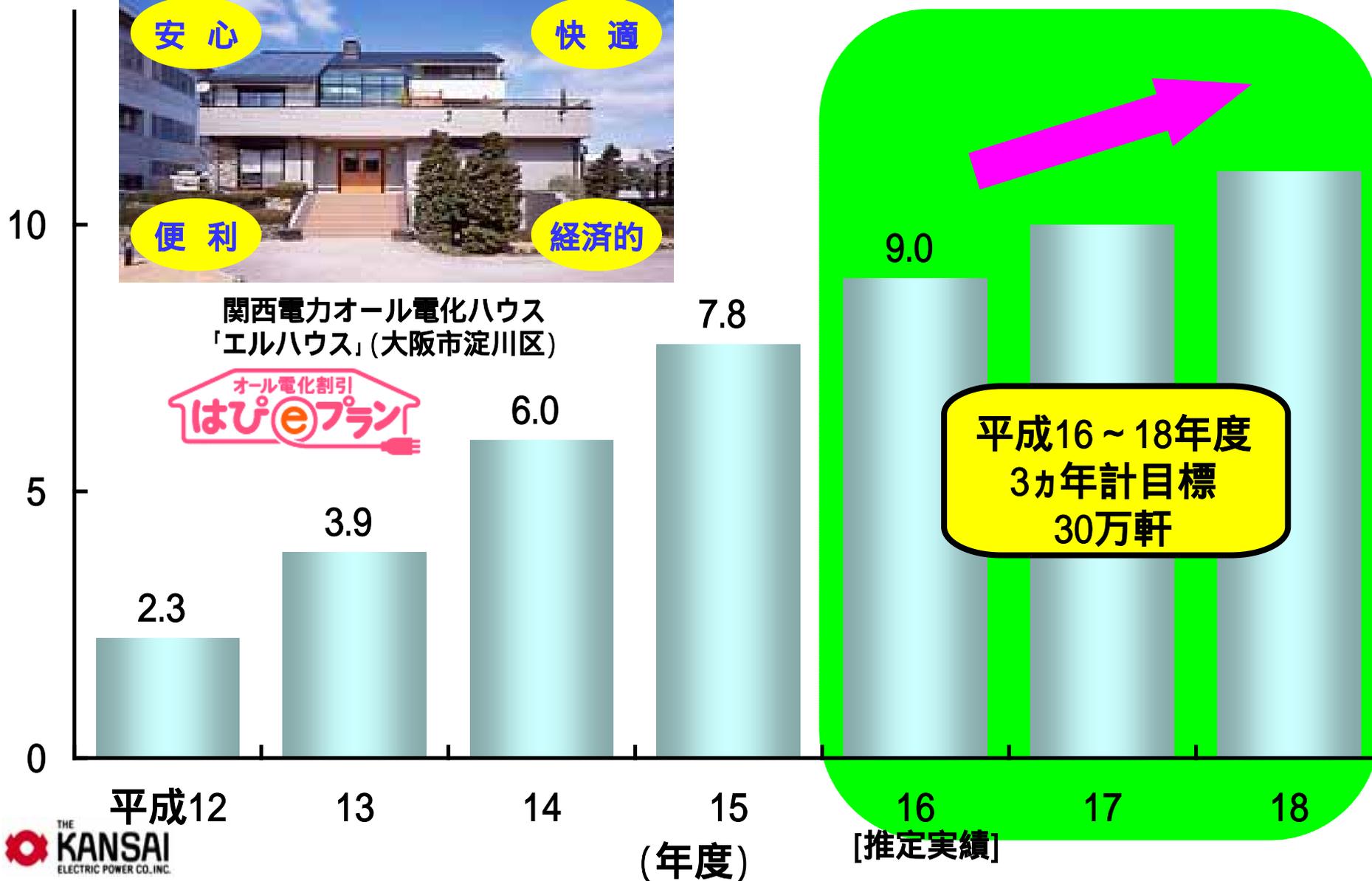


# 全電化住宅成約戸数

(万軒)



関西電力オール電化ハウス  
「エルハウス」(大阪市淀川区)



# 業務用複合電化システム成約件数

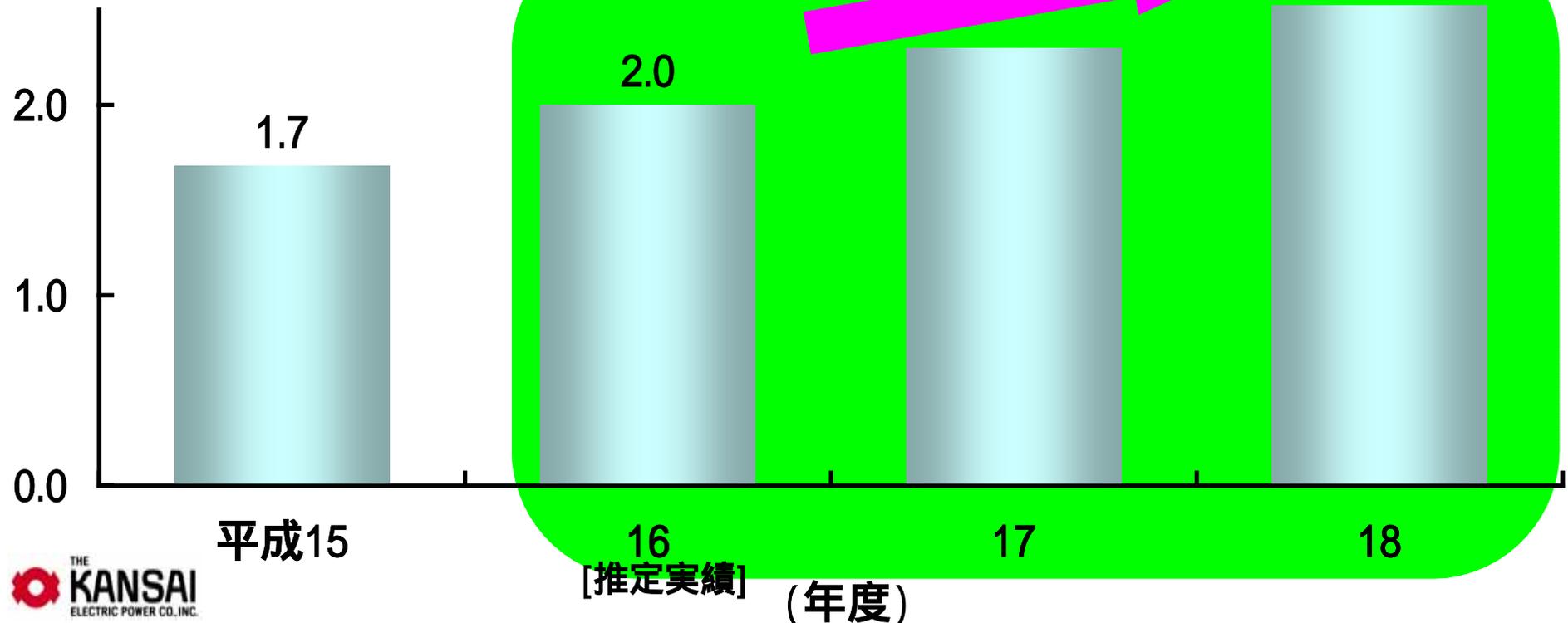
業務用複合電化システム=空調、給湯、厨房設備の電化



「エルテック新大阪」電化厨房体験ルーム  
(大阪市淀川区)

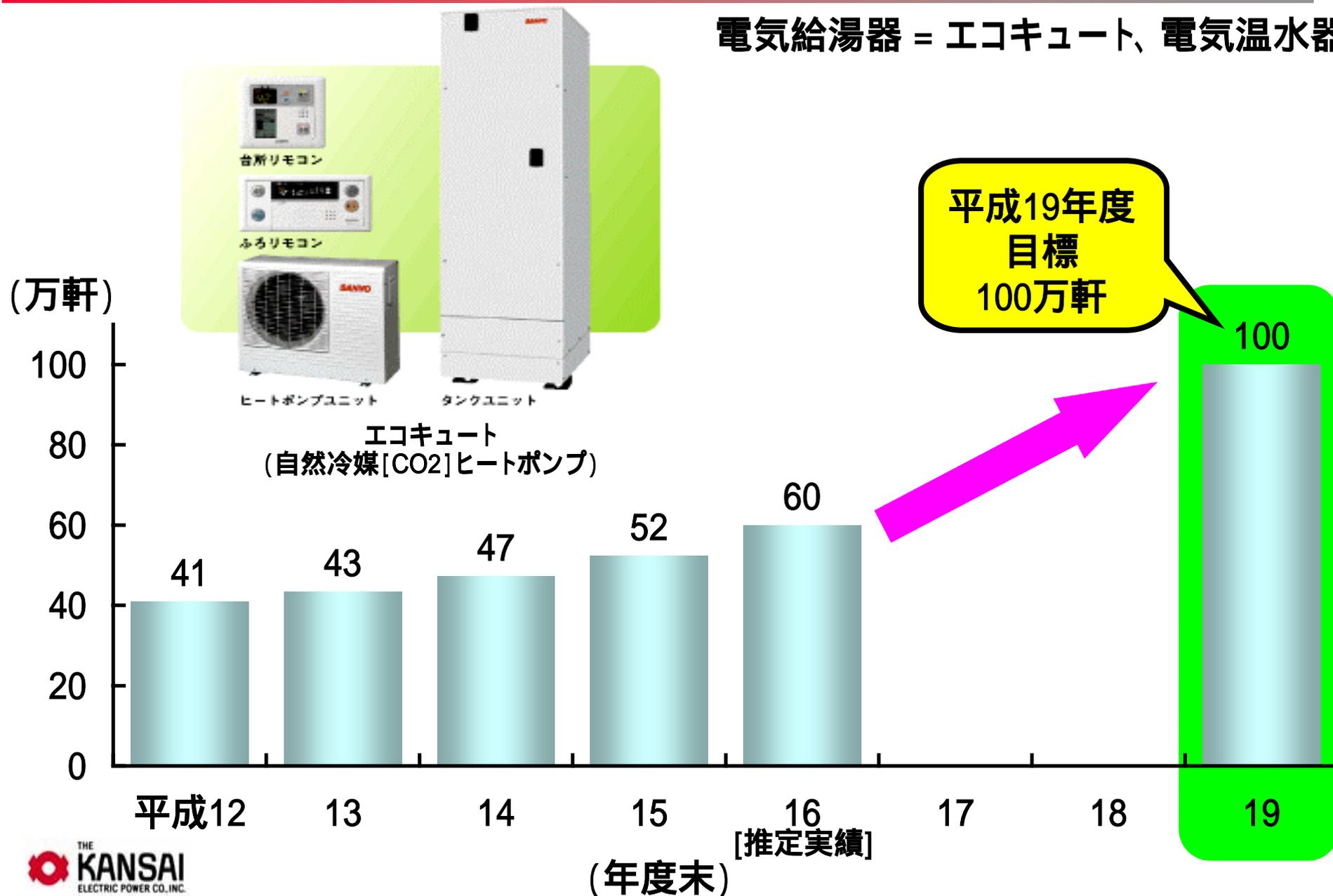
平成16～18年度  
3カ年計目標  
7,000件

(千件)



# 電気給湯器契約口数

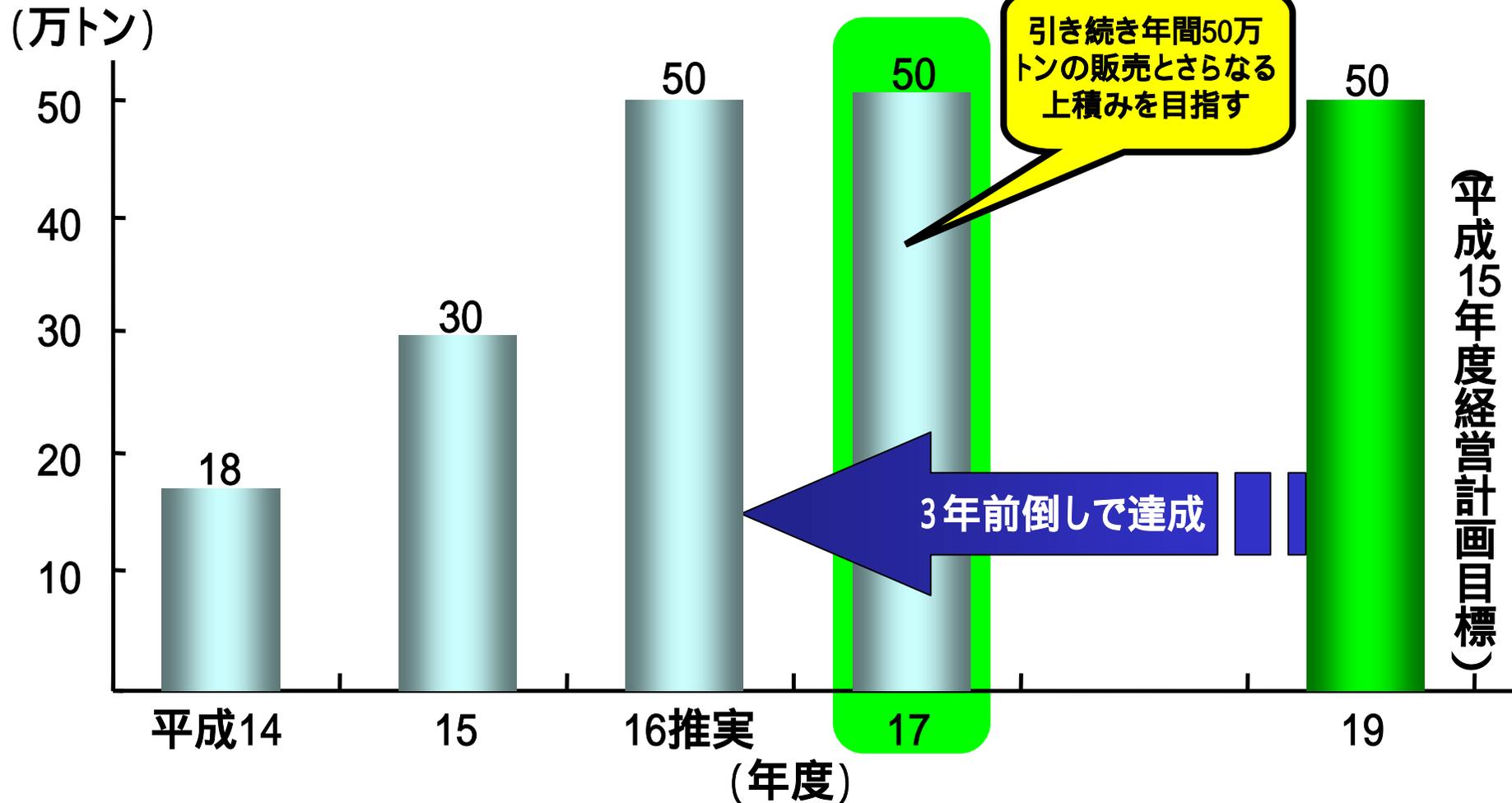
電気給湯器 = エコキュート、電気温水器



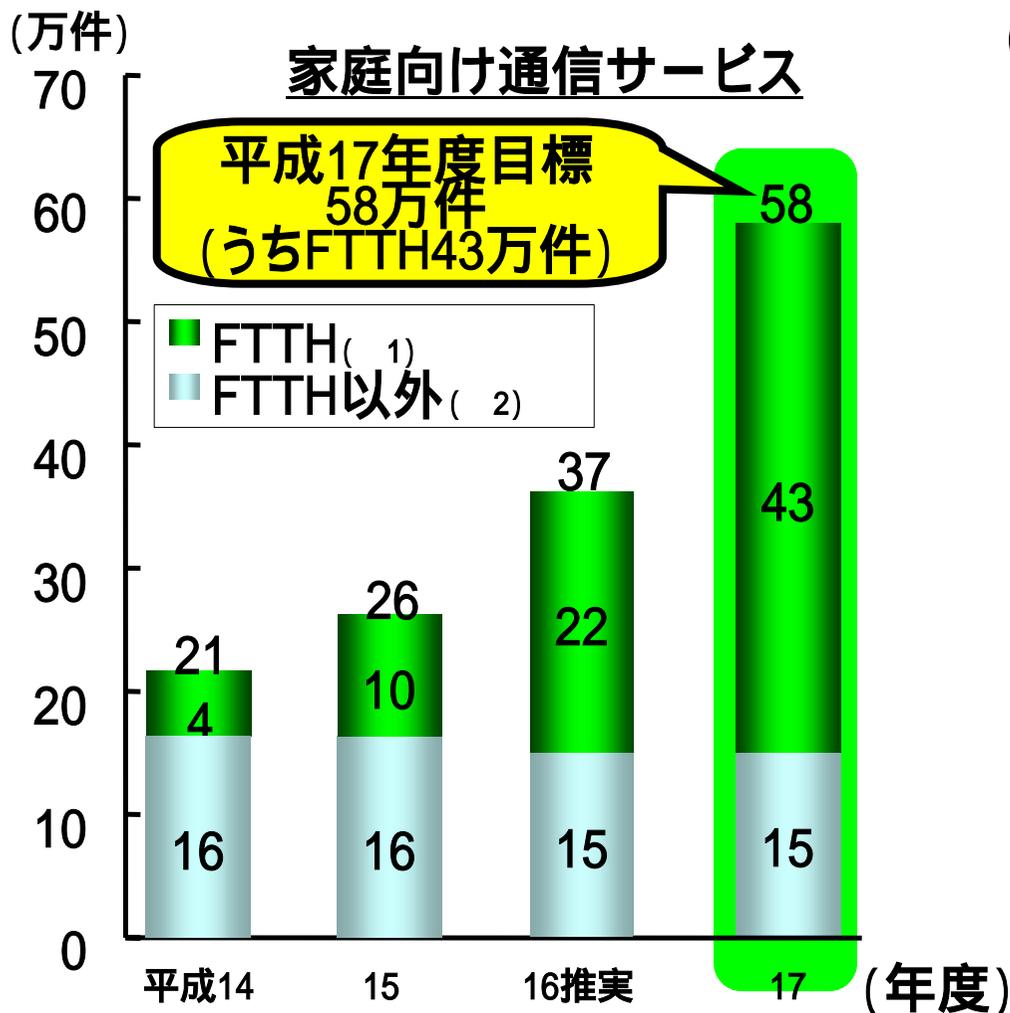
# 総合エネルギー分野の取り組み

総合エネルギー販売量(天然ガス換算)

大阪湾岸地区に堺LNGセンターを建設中  
(平成17年度中に操業開始予定)

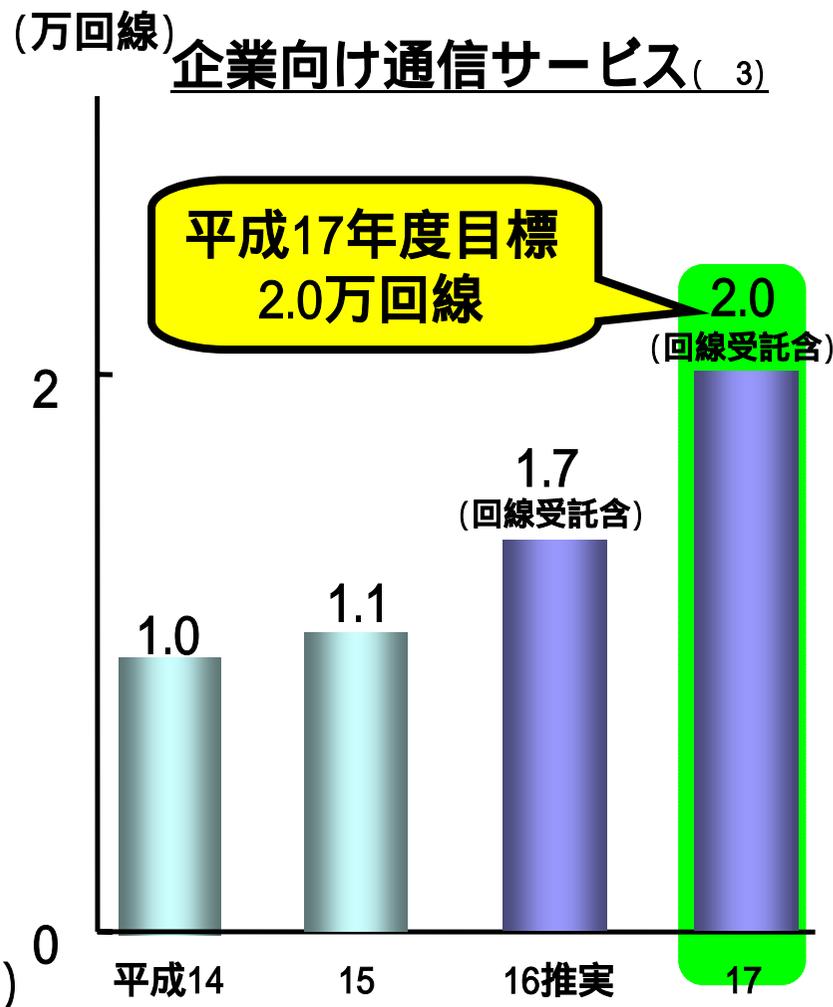


# 情報通信分野の取り組み(年度末契約回線数)

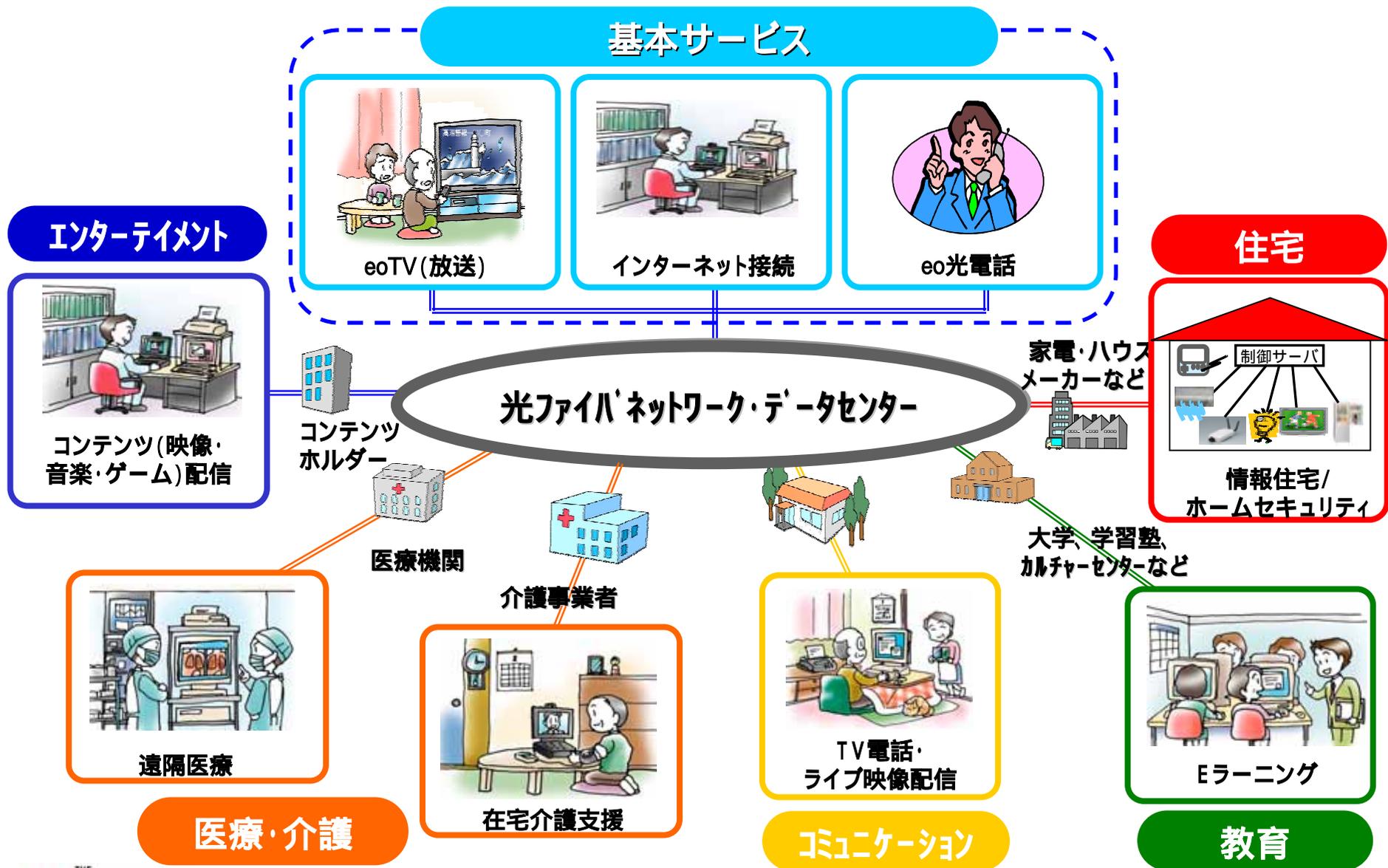


1 eoホームファイバー、eoメガファイバー、eoTV、eo光電話  
(インターネットとeoTV、eo光電話をあわせてご利用いただくお客さまは、1件でカウント)

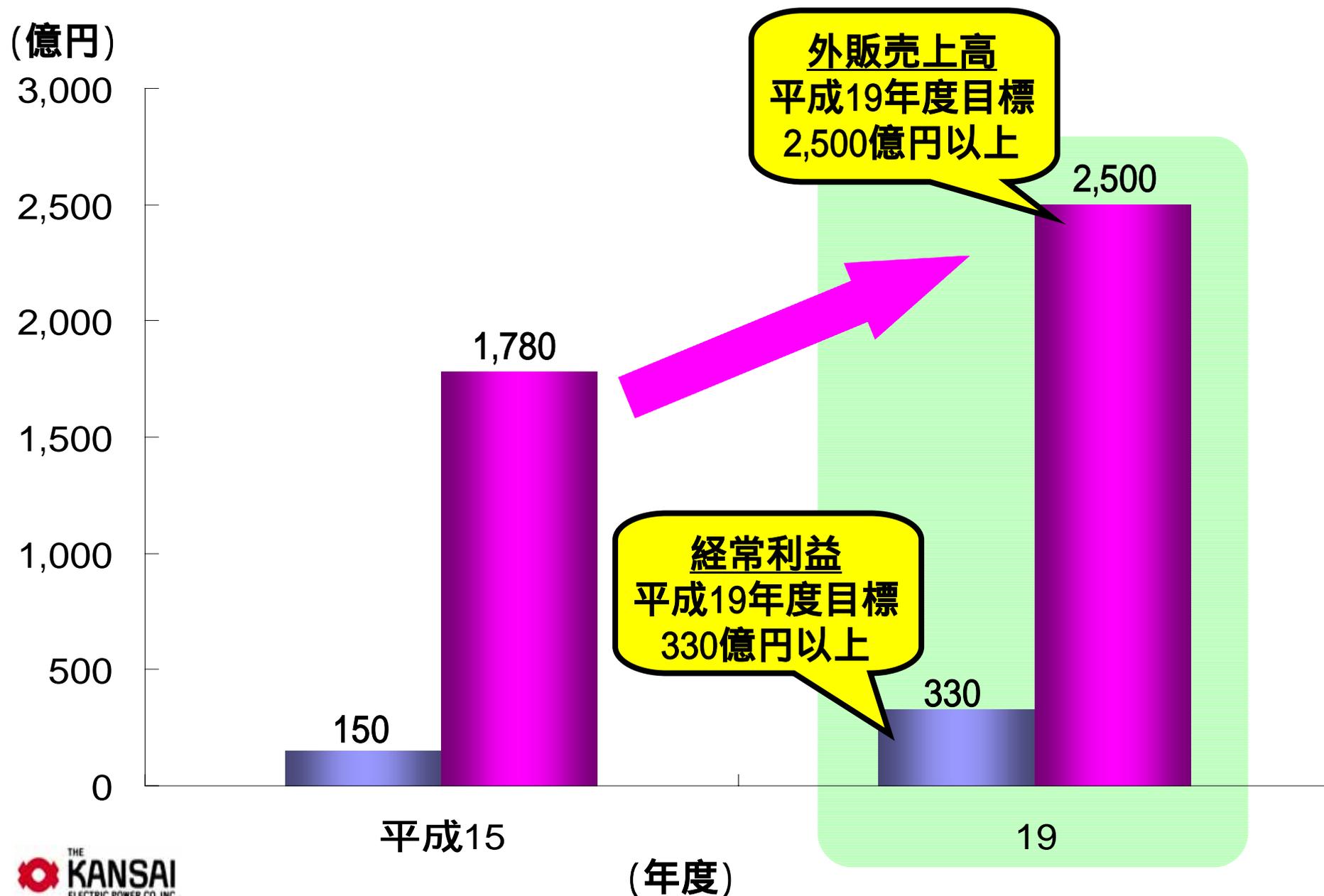
2 eo64エア、eoADSL、eoメガエア



3 eoオフィスファイバー、ビジネスeo、IP-VPN、W-Link、広域イーサネット、専用線サービス、移動体通信事業者向け回線受託(H17より目標に織り込み)



# 電気事業以外の外販売上高・経常利益



# 設備投資額(単独)

堺港発電所[写真]のコンバインドサイクル発電方式への改良について検討中

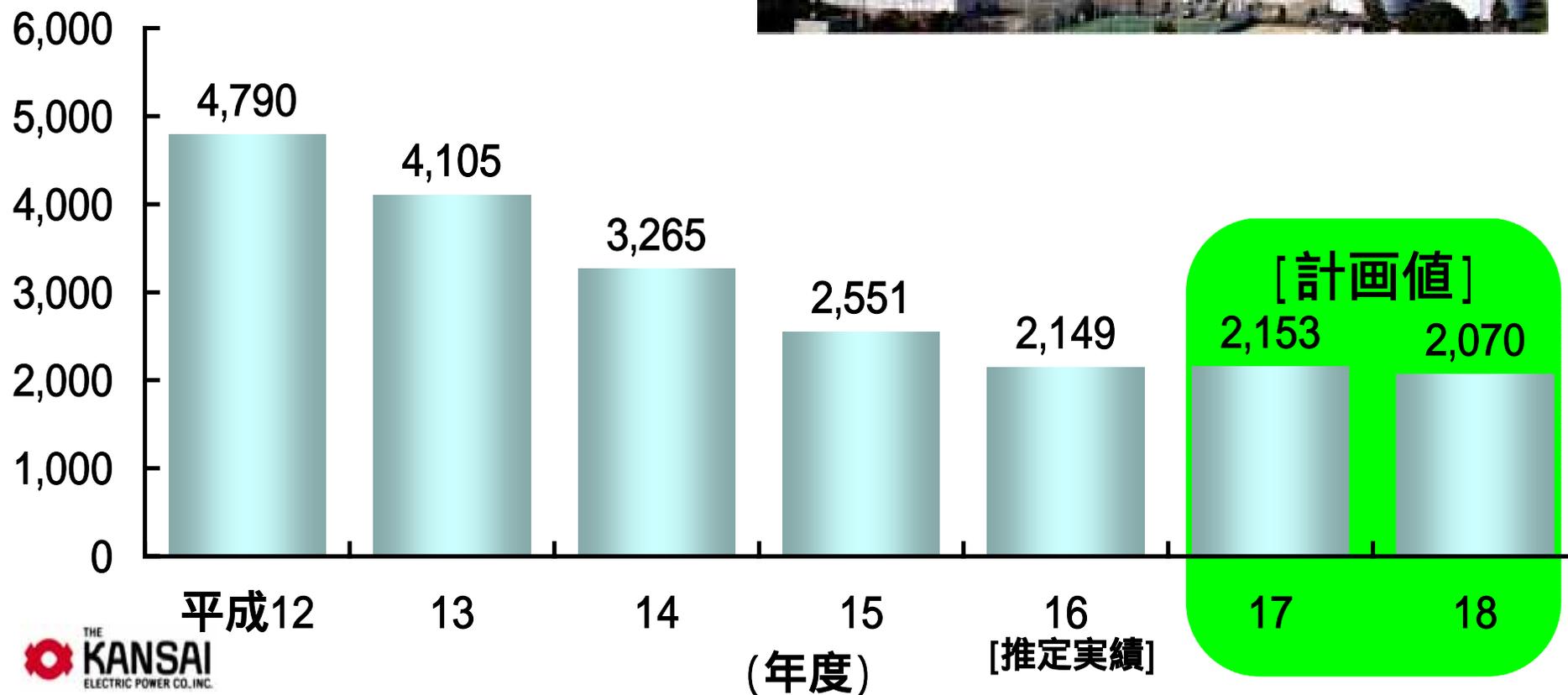
I 期(100万kW級) : 平成20年7月

II 期(100万kW級) : 平成22年7月

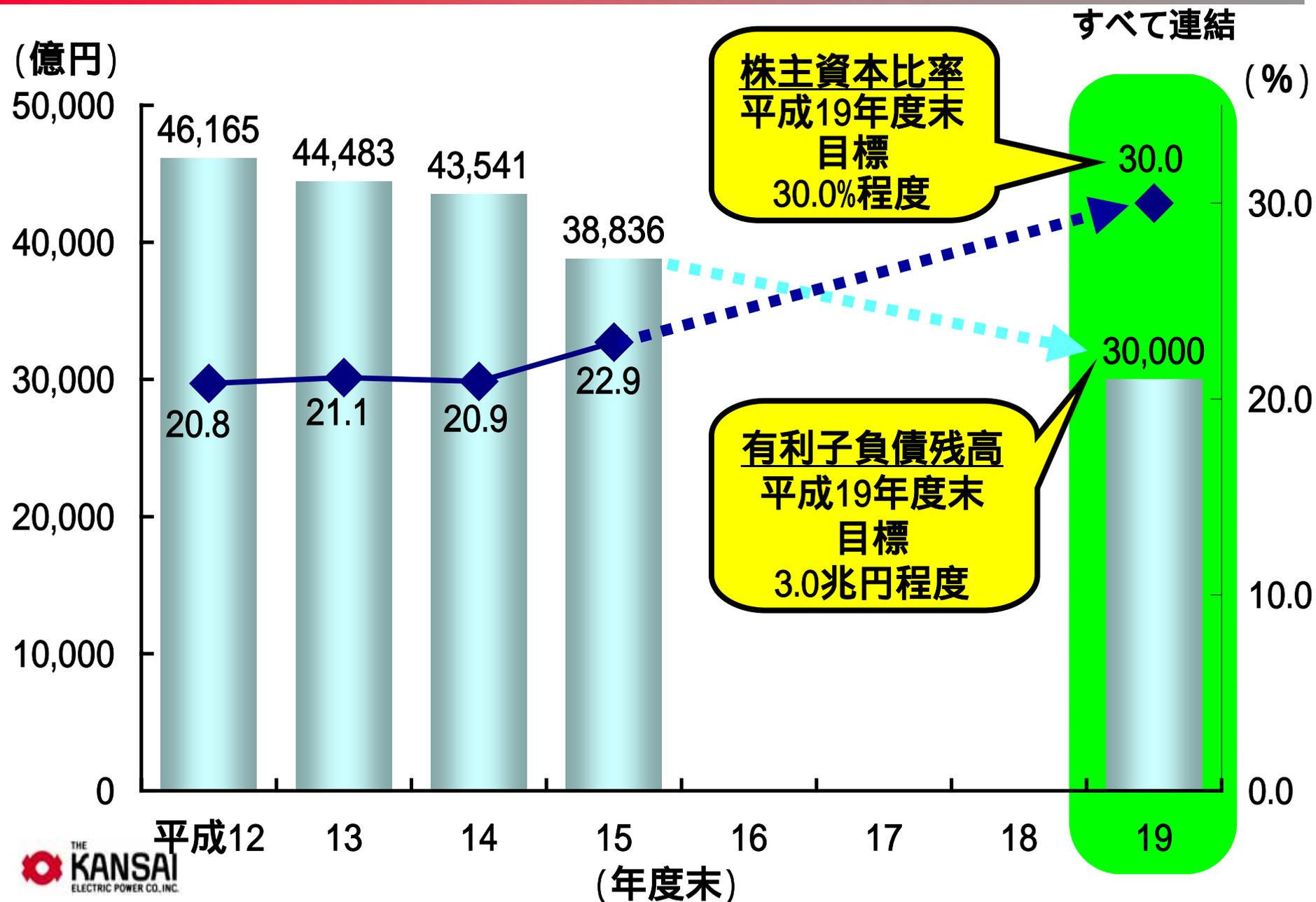
[注] グラフにある金額には含まれていない



(億円)



# 財務体質の強化



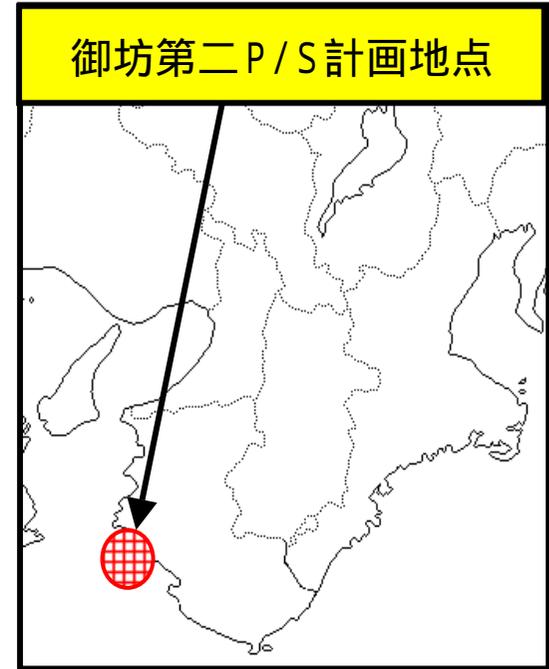
---

# 御坊第二発電所建設計画の中止について

# 御坊第二発電所の建設計画中止

**計画概要**  
(H16供給計画)

最大出力：110万kW×4  
燃料：オリマルジョン・重油  
運開年度：平成26年度以降



**< 中止の理由 >**

- 電力需要の伸びの鈍化
- 電力自由化の進展に伴う厳しい経営環境
- ベネズエラにおけるエネルギー政策の変更による燃料のオリマルジョンの新規供給停止と供給再開は極めて乏しいとの見通し



**< 中止に伴う損失額 >**

これまでの投資(支出)額	約560億円	} <b>特別損失</b> 約660億円
[調査工事費用、準備工事費用、漁業補償金等]		
今後発生する費用	約100億円	
[原形復旧工事費用等]		

平成16年度に損失処理

---

# 平成17年3月期 業績予想の修正について

# 業績予想修正 (H17.3.28) のポイント

12

販売電力量の増加や諸経費の節減などにより経常利益が増加する一方、御坊第二発電所建設計画中止に伴う損失を特別損失に計上するなど、当期純利益が減少し、今期業績に大きな変動が見込まれるため、業績予想の修正を行うもの。

## < 主な変動要因とその内訳 (通期ベース) >

<b>販売電力量の増加</b>	連結・単独ともに 売上高 + 約300億円	+21億kWh (1,423 1,444億kWh) 電灯 + 4億kWh (462 466億kWh) 電力 +17億kWh (962 978億kWh)
<b>御坊第二発電所建設 計画中止に伴う損失</b>	連結・単独ともに 特別損失 約660億円	・既に支出した調査工事費用等 約560億円 ・今後の原状回復工事費用等 約100億円

# 業績予想の修正について(平成17年3月期 通期)

13

(単位:億円)

	連結			単独		
	今回予想 (3/28)	前回予想 (11/10)	増減	今回予想 (3/28)	前回予想 (11/10)	増減
売上高	25,700	25,500	+ 200 (+0.8%)	24,000	23,700	+ 300 (+1.3%)
営業利益	3,650	3,150	+ 500 (+ 15.9%)	3,500	3,000	+ 500 (+ 16.7%)
経常利益	2,850	2,350	+ 500 (+21.3%)	2,700	2,200	+ 500 (+22.7%)
特別損失	1,480	820	+ 660	910	250	+ 660
当期純利益	590	730	140 ( 19.2%)	1,070	1,210	140 ( 11.6%)

	今回前提(3/28)	前回前提(11/10)	増減
販売電力量(億kWh)	1,444	1,423	+ 21
電灯(億kWh)	466	462	+ 4
電力(億kWh)	978	962	+ 17
原子力利用率(%)	70程度	70程度(*)	±0
出水率(%)	115.0	104.4	+ 10.6
全日本原油CIF価格(\$/b)	38程度	38程度	±0
為替レート(インターバンク)(円/\$)	107程度	110程度	3円程度
金利(長期プライムレート)(%)	1.7	1.7	±0

(\*)原子力利用率については、第3四半期決算発表時(2/8)の変更(75程度→70程度)を反映している。

# 連結業績予想の差額説明(平成17年3月期 通期)

14

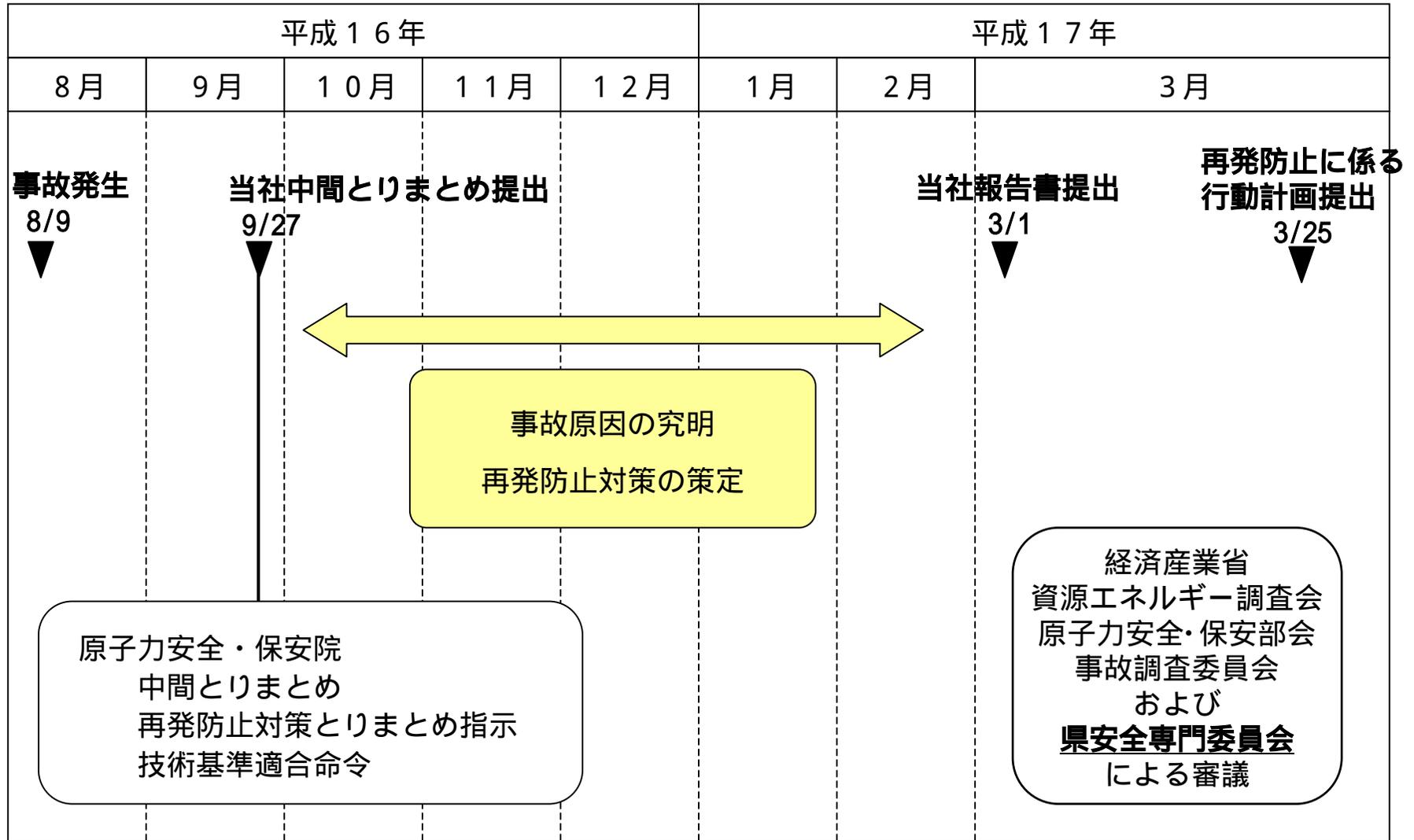
(単位:億円)

	今回予想 (3/28)	前回予想 (11/10)	増減	差額説明	H15年度 実績
売上高	25,700	25,500	+ 200 (+0.8%)	販売電力量の増加 + 300 子会社の決算期変更等 100	25,401
経常利益	2,850	2,350	+ 500 (+21.3%)	販売電力量の増加 + 230 (1,423億kWh 1,444億kWh) 出水率の向上 + 75 (104.4% 115.0%) 為替レート円高による影響 + 75 (110円 107円) 諸経費の減少 + 120億円	1,873
特別損失	1,480	820	+ 660	御坊第二発電所建設中止に伴う 特別損失の計上 + 660	107
当期純利益	590	730	140 ( 19.2%)		901

---

# 美浜発電所3号機事故 再発防止に係る行動計画について

# これまでの主な経緯



# 「再発防止に係る行動計画」の位置付け

3月1日

美浜発電所3号機二次系配管破損事故について

【位置づけ】

炉規制法および安全協定に基づく報告

【主な内容】

事故発生状況・配管破損メカニズムと評価・  
原因・再発防止対策  
保全業務全体への再発防止対策の水平展開

美浜発電所3号機事故再発防止対策

～より安全な原子力の事業運営を目指して～

【位置づけ】

経済産業大臣からの嚴重注意文書に対する回答

【主な内容】

事故の概要・原因・再発防止対策と保全業務  
全体への水平展開(左記報告の内容の要約)  
原子力のさらなる安全を目指す観点からの、  
原子力事業運営の課題の分析と必要な対策

3月10日 保安院より再発防止対策の具体化に際しての必要な要件の提示  
(アクションプログラムを経営者のコミットメントとして示すことと、その要件を提示)

3月14日 行動計画の骨子を報告

〔 ・骨子は3月1日提出の再発防止対策を具体化したもの  
・骨子に基づき行動計画を作成、提出要請 〕

3月25日、具体的な行動計画を取りまとめ

巻頭に社長名で事故防止の決意を記載したものの  
記載内容は以下のとおり

社長の宣言

「安全を守る。それは私の使命、我が社の使命」



“原子力発電の安全を確実にする”ことが当社の使命であり、  
最重要の経営課題と位置づけ



5つの基本行動方針をまとめ

再発防止策、未然防止策を確実に実施することを固くお約束

# 基本行動方針の概要

安全を何よりも優先します

安全のために積極的に資源を投入します

安全のために保守管理を継続的に改善し、  
メーカー、協力会社との協業体制を構築します

地元の皆さまからの信頼の回復に努めます

安全への取組みを客観的に評価し、広くお知らせします

# 基本行動方針の内容 (1 / 3)

## 安全を何よりも優先します

- ・平成17年度経営計画に「安全最優先」を最重要課題として明確化
- ・「原子力運営計画策定協議会(仮称)」を設置し、事業本部と現場第一線が共同で実態に即した計画策定、フォロー、評価
- ・「安全の誓い」の石碑の建立、8月9日を「安全の誓い」の日と設定
- ・労働安全衛生マネジメントシステムの導入、高浜、大飯へ展開

## 安全のために積極的に資源を投入します

- ・本店、支社を一体化し現場支援を強化、評価
- ・発電所保守管理体制の強化、「情報管理責任者」などの設置
- ・長期工事計画の見直し、必要な投資、フォロー
- ・安全確保に必要な検査、補修とその期間を確保、

# 基本行動方針の概要 (2 / 3)

参考

安全のために保守管理を継続的に改善し、

メーカ、協力会社との協業体制を構築します

- ・2次系配管肉厚管理システムの充実
- ・保守管理の継続的な改善
- ・保守管理指針に安全最優先を明記
  - ・プラントオーナーとして一義的責任を有することを徹底
  - ・役割分担・調達管理の見直し
- ・品質・安全監査室に「発電所担当」を設置、外部監査の実施
- ・メーカ、協力会社と協業体制の構築、電力間の協力体制の検討

# 基本行動方針の概要 (3 / 3)

参考

## 地元の皆さまからの高い信頼の獲得に努めます

- ・地元とのコミュニケーション
- ・事業本部を福井県内に移転
- ・エネルギー拠点化構想への協力

## 安全への取組みを客観的に評価し、広くお知らせします

- ・「原子力保全改革委員会(仮称)」を設置し、再発防止計画の策定推進および計画の公表
- ・独立性、第三者性を確保した「原子力品質安全委員会(仮称)」を設置し、「原子力保全改革委員会(仮称)」の活動の監視、結果を都度公表

ご質問・お問い合わせ等は、下記までお願いします。

担 当： I R チーム 谷口、岡野、奥出

電話番号： 0 6 - 7 5 0 1 - 0 3 1 5

0 5 0 - 7 1 0 4 - 1 8 1 8 ( 谷 口 )

0 5 0 - 7 1 0 4 - 1 8 1 2 ( 岡 野 )

0 5 0 - 7 1 0 4 - 1 8 0 7 ( 奥 出 )

F A X： 0 6 - 6 4 4 7 - 7 1 7 4

e - mail： [okude.ryuuichiro@b2.kepco.co.jp](mailto:okude.ryuuichiro@b2.kepco.co.jp)